

◇◇◇練習問題◇◇◇

《問題 1》

次の文章のうち、「上場銘柄の制度信用取引」に関する記述として正しいものは○、正しくないものは×をつけなさい。

1. 金融商品取引業者が買付けを行う顧客に対し貸し付ける金銭の額は、約定代金と顧客の差し入れた委託保証金との差額ではなく、約定代金の金額である。
2. 金利は、株券を借りた顧客から徴収され、品貸料は、買付代金を借りた顧客から徴収される。
3. 信用取引貸株料は、売方が株券の借入に伴う費用として金融商品取引業者に支払うものである。
4. 証券金融会社が、貸株超過銘柄の不足する株数を他から調達したときの品貸料を一般に日歩といい、金融商品取引業者は、売顧客から徴収し、買顧客に支払う。
5. 証券金融会社が、貸株超過銘柄の不足する株数を他から調達したときの品貸料を一般に逆日歩といい、金融商品取引業者は、売顧客から徴収し、買顧客に支払う。
6. 2019年7月15日まで、信用取引における金利は、新規売買成立の日から起算して4営業日目の受渡日より、弁済売買成立の日から起算して4営業日目の受渡りまでの両端入で計算される。
7. 貸借取引において、貸借値段は貸付日の終値を基準として決定する。
8. 貸借取引において、貸借値段が引き上げられた場合は、融資を受けた金融商品取引業者には貸借値段の差額に株数を乗じた金額を交付し、貸株を受けた金融商品取引業者からは貸借値段の差額に株数を乗じた金額を徴収する。

